

事業名	精神保健事業
-----	--------

総事業費	283 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	健康づくりの推進
	基本事業名	健康づくり推進体制の充実

② 実施 (Do)

事業の意図	心理士によるカウンセリングを受けることによって、不安や悩みへの向き合い方やセルフコントロール等の支援をすることで不安等の軽減につなげる。また、保健事業に関わるスタッフへの研修を行うことで保健事業での相談対応に活かす。	
事業の実績と成果	取組内容	心理士のカウンセリングを通して、不安や悩みを軽減するよう支援した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、心理士が来島できなかったときに、リモートや電話での相談を行った。
	成果	カウンセリングを継続利用していた対象者が就活を行い、次のステップに進んだケースやセルフコントロールできるようになったケースもあった。 カウンセリングを受ける事で自分自身を振り返ったり、対人との関わり方を見直したりと相談終了や次回の相談前に本人から聞くことがあった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・ カウンセリング(相談する)に関する認知度が低い。誤解・偏見がある。 ・ リピート率も増えており、予約が取れない月も数回あった。 ・ リモートで行う場合、場所が庁内か市民会館になるため、待機場所の確保等配慮が必要になる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	精神的な不安を抱えるなどの対象者に対し、専門職によるカウンセリングを受ける機会を提供している。 支援が必要な方が相談を受けやすい環境づくりなど、着実に支援に繋げる取り組みが必要である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	支援が必要な方が相談を受けやすい環境づくりを提供するため、相談場所の選定や、講師が来島できない場合はリモートでの相談が行える体制づくりなど、工夫する。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	すこやか塾市民健康づくり事業
-----	----------------

総事業費	439 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	健康づくりの推進
	基本事業名	健康づくり推進体制の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	健康づくり推進事業を展開をすることにより、市民一人ひとりが自己管理についての知識を深め、健康の保持増進を図ることにより、医療費の適正化につなげる。	
事業の実績と成果	取組内容	啓発用健康食レシピの公開：市政の窓「旬の食材を食べよう」毎月号に掲載（食生活改善推進員協力のもと献立立案・調理・盛り付け・写真撮影） 3月予定のすこやかフェスタはコロナウィルスの感染予防のため書面開催。それに伴い講演会等延期。 市健康づくり功労者表彰規定に基づき、2名1団体を表彰。8020達成認定者表彰（32名）。
	成果	コロナ禍で教室及び相談会等により多くの人を集めて開催することが困難な中で感染予防に充分配慮した集会を開催することで、市民が健康づくりに対する重要性の再確認やニーズを把握することができた。 また、健康づくりのための運動を自主的におこなってもらおう上で、地域活動を通して普及させていくことがより効果的であることもうかがえた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	新型コロナウィルス感染症予防の観点から教室及び相談会等の内容及び開催方法、開催時期を見直し成果の向上を目指す。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	市民の健康意識の向上を図るうえで必要な事業である。 新型コロナウィルスの影響により、多くの人を1カ所に集めて行う事業は開催が困難となっているので、やり方に工夫が必要である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	新型コロナウィル感染防止を図りながら、状況に応じた取り組みを展開する。
-----------	-------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	子どもインフルエンザワクチン接種費用助成事業
-----	------------------------

総事業費	1,751 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	健康づくりの推進
	基本事業名	健康づくり推進体制の整備

② 実施 (Do)

事業の意図	インフルエンザワクチン予防接種を推進し、子どものインフルエンザ感染及び重症化を予防するとともに子育て世代家庭の経済的負担の軽減を図る。	
事業の実績と成果	取組内容	・接種に係る要領についてまとめたチラシを作成のうえ、各園及び学校経由で配布し、広く周知した。 ・インフルエンザワクチン接種を希望する生後6か月～18歳までの接種費用の助成を行った。 ・各実施医療機関には、あらためて本事業の実施内容について個別説明を行った。
	成果	令和2年度接種実績 ①13歳未満：836名/1回目+656名/2回目=1,492名（延べ人数） ②13歳以上：229名（延べ人数） ①+②=1,721名（延べ人数）

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	国による国内全体のワクチン分配調整があったため、被接種者の推移が見込みづらい状況にあった。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	インフルエンザの蔓延防止と、子育て世代の負担軽減のため意義ある事業である。 新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症への関心が高まっており、接種者も増加している。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	普及啓発の推進を図る。
-----------	-------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明